

こどもの病気対策法¹³⁹

—就学前の三種混合ワクチンとポリオワクチン接種—

小宅医院 小宅民子

津久見市は、今年度から三種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風）ワクチンと不活化ポリオワクチン接種の助成をはじめます。就学前（年長児）の子どもは三種混合ワクチン、ポリオワクチンを、津久見市の対象医療機関において無料で受けられます。日本小児科学会も、就学前の三種混合ワクチンと不活化ポリオワクチンの追加接種を推奨しています。

生後3か月より四種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風・不活化ポリオ）ワクチンを4回接種することで、ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオの発病が予防できます。ワクチンを接種したほとんどの子どもは免疫が付き、病気から守られます。しかし、四種混合ワクチンで得られた免疫も、百日咳に関しては小学入学前には弱まることわかりました。このため小学生の間で百日咳の流行が度々みられます。百日咳は感染力が強く、小学生の兄弟から未接種の小さな赤ちゃんに感染することもあります。生後3か月未満

の乳児が感染すると呼吸不全に陥り死亡することもあります。また、百日咳にかかると長く激しい咳が続く、回復に2〜3か月かかるともいわれます。そのため就学前の三種混合ワクチン接種が推奨されます。

また、ポリオについても同様に小学入学前に免疫が弱まるといわれています。ポリオにかかると重症な場合、手足の麻痺などの後遺症を引き起こします。ポリオは現在、国内での流行はありませんが、東南アジア、アフリカではまだ患者さんがおり、そこへの渡航時や、感染者が日本へ入国した際は、感染する可能性があります。就学前のポリオの免疫が低下していることから、追加の接種をお勧めします。

現在、四種混合ワクチンは4回までの接種に限られているため、5回目以降の追加接種は三種混合ワクチンと不活化ポリオワクチンを使用します。MR（麻疹・風疹）ワクチンやおたふくかぜワクチンとの同時接種も可能です。

三種混合ワクチン・不活化ポリオワクチンの5つのポイント

- ・ 小学入学前には百日咳、ポリオの免疫が弱まる
- ・ 今年度から三種混合ワクチン、ポリオワクチン接種の助成（無料）が開始
- ・ 対象は就学前（年長児）の子ども
- ・ 津久見市内の対象医療機関で実施
- ・ MR、おたふくかぜワクチンとの同時接種も可能

